

第1回定例会 令和8年度予算審査特別委員会(2026.3)の質問内容です(Q:やしきだ区議の質疑 A:行政側答弁)

① 総務費について

議会質問の動画を配信



総務費《備蓄物資整備事業について》

Q やしきだ 今回は江東区内25箇所の防災倉庫の再整備と再構築。小中学校の拠点避難所69箇所には備蓄物資もある。防災倉庫以外の再整備、再構築について、現時点で今後はどう考えているか。

A 防災計画課長 拠点避難所にあります備蓄倉庫につきましては、令和8年度に取り組み防災倉庫再整備後に実施について検討する。

AQ やしきだ プッシュ型支援への区への考え、評価は。

A 防災計画課長 国のプッシュ型支援は、熊本地震で初めて大体的に実施された。物資が早急に被災へ届けられ、生活に必要な物資を早く保管できるなど、迅速な被災者支援に繋がっているものと評価している。

Q やしきだ 現状では本区は要請があつた場合に支援物資が輸送される、いわゆるフル型。プッシュ型支援の導入と併せてニーズ把握を的確にするために事前に何かしら計画はできるのでは？

A 防災計画課長 令和8年度に取り組み、備蓄物資管理体制の再構築により、ラストワンマイルの輸送手段やルート、物資の入出荷管理などの体制が確立できる。プッシュ型支援の実施、対象物資のニーズ把握についても検討する。

あやかの想い



プッシュ型支援は、災害時の初期対応としては非常に有効とされていますが、物資過多による混乱を防ぐため計画的導入が不可欠で、備蓄の把握と管理体制の強化、民間企業との連携により質を高めることが重要です。プル型支援との役割分担、それぞれのメリットを活かした計画策定と体制構築により課題解消を図り、被災者への迅速で確実な支援の実現を期待します。

*プッシュ型支援...大規模災害当初は、被災自治体において正確な情報把握に時間を要すること、民間供給能力が低下すること等から被災自治体のみでは必要な物資量を迅速に調達することは困難と想定。国では被災自治体からの具体的な要請を待たずに、食料や携帯トイレなどの基本8品目のほか、避難所環境の整備に必要な物資等を調達し、被災地に緊急輸送しており、これをプッシュ型支援という。

② 民生費・衛生費について

民生費《手話関連事業について》

Q やしきだ 手話リンクの区ホームページへの設置についての周知や広報は？

A 障害者施策課長 区報、区ホームページ窓口でのご案内のほか、手話通訳を利用されている方に向けた利用者懇談会の実施を予定している。使い方の説明や個別相談を受ける場を設ける予定。聴覚障害者団体や手話通訳者連絡会などにも事前に周知する。



病児病後児保育について

Q やしきだ 区に預かり保育を申請している幼稚園の保護者なども利用できる仕組みへと転換すべきと考えるが？

A 保育支援課長 幼稚園で預かり保育を利用する過程の具体的な利用ニーズを把握し、関係部署とも連携しながら、多角的な観点で検討を進めていく。

施設の在り方について

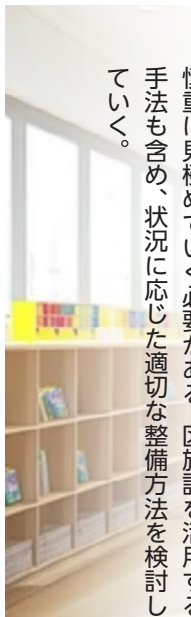
Q やしきだ 令和11年度までに21の公営民営園で改修・改築工事、空き定員も増えてきている現状を踏まえて、同じ園内に病児病後児保育室や児童発達支援施設等を併設しては？



A 保育政策課長 待機児童は0を堅持しているが、空きスペースの確保は難しい。また、医療機関との連携等、クリアすべき要件が多い。将来の需要見通しも踏まえ、複合化の多機能化の可能性も選択肢の一つとして検討する。

Q やしきだ 現在、江東区内に児童発達支援施設は33ヶ所存在。多くがマンションの一角などで運営。例えば区立保育園のスペースの一部を、他の事業に貸し出すという仕組み作りが出来るれば施設使用料として区の歳入にも繋がるのではないか。

A 障害者施策課長 事業者の負担軽減や財源確保に資する可能性がある有効な手法の一つだが、民間事業者による整備を踏まえる必要については、慎重に見極めていく必要がある。区施設を活用する手法も含め、状況に応じた適切な整備方法を検討していく。



電子カルテについて

Q やしきだ 本区では母子保健システムにおいては既に電子管理が導入されているが、精神保健・難病対策等の業務、相談記録などは現在も紙による運用となっている。何故か？

A 保健予防課長 精神疾患や一部難病の相談記録は保健所内で運用される個人情報であり、基本的に外部機関と情報共有することはなく、電子化の優先度が低いため。

Q やしきだ 災害時に相談記録が消失してしまうなどの管理リスクはないのか？電子管理導入への見解は。

A 保健予防課長 紙の記録は保管場所を必要とすることから、長期間経過した記録は廃棄されるリスクがある。対応優先度の高い対象には、紙とデータ記録の両方を保管し、緊急時には機動的に対応できるように備えている。自治体標準化システムへの適合状況など、全体の状況をみながら今後判断する。

特定不妊治療について

Q やしきだ 東京都の先進医療費への上乗せという形をとった背景は？

A 調整担当課長 不妊治療における先進医療は、自己負担の金額に大きな差がある。自費診療になるため高額療養費の対象からも外れることから、先進医療にかかる費用の一部を助成することとした。

あやかの想い



区民の公平性を考えること、歳入に繋がりが、事業の自立性が高まり、子どもたちに良い影響をもちます。早急に検討すべき。改修・改築工事は園の中の作りを変える絶好の機会。時代を見据え、区民に選ばれた保育園の施設への転換を。

あやかの想い

不妊治療が保険診療になつたが、長期治療になる場合や治療法によつては保健適用外となる場合も多く、金銭面を理由に諦める方もいるため、実態の把握と引き続きの支援を要望していきます。



あやか考える...精神疾患・難病疾患共に疾患が長期にわたり経過するため、紙での記録では経過や支援内容を十分に把握することが難しい。治療歴や生活状況の変化等、長期的に整理すべき情報が多いのに、担当者が変わると支援が途切れやすい。電子管理を導入すべき。



TOPICS ▶▶▶ [令和8年度(2026年度)当初予算について]

予算編成の基本方針(骨子)

- (1) 笑顔あふれる江東区の実現に向けた施策のさらなる推進
- (2) 財源確保と時代に即した既存事業の見直し
- (3) 持続可能で強固な財政基盤の構築

詳しくは→



PDF版
ダウンロード



2026.3.27の本会議で賛成多数で予算案が可決されました。

～一人ひとりの「今」に寄り添い、歩みを進め、笑顔輝く未来へ～

予算規模は8年連続での増加、過去最大の予算規模となりました。(3,983億3,600万円 [前年比4.5%増])
ここに予算案の一部をピックアップします！

現場の声に耳をすませて、質問で取り上げた内容が予算として形になりました！
また、我が会派の要望内容も予算に多数反映されました。

●備蓄物資整備事業

輸送計画の策定及び防災倉庫の棚卸し等、官民連携で行う

●放課後こどもプラン事業

きっずクラブの運営にかかる委託料を引き上げるとともに、放課後児童支援員のキャリアアップ処遇改善事業を実施

●私立学童クラブ補助事業

運営補助金の単価を引き上げるとともに、放課後児童支援員のキャリアアップ処遇改善事業を実施

●小学校管理運営事業

学校外の屋内プールにおける水泳指導の試行およびプールを設置しない場合の学校改築工事の経費試算を実施

●江東区コミュニティバス運行事業

Point!

- 都営バス路線網を補完する本区初の公共交通
- 高齢者や子育て世帯向け、ニーズに応じた柔軟で効率的な運行が可能
- 令和9年度の実証運行開始にむけ準備を推進

●特定不妊治療費助成事業

保険適用された特定不妊治療と併せて自費で実施した先進医療にかかる治療費から、都の助成額を除いた額に対して、1回の治療につき5万円を上限に助成

◎災害用携帯トイレ配布・全世帯へ



Point!

- 全区民に携帯トイレを1人15個配布
- トイレガイドブック

◎障害者意思疎通支援事業

聴覚障害者が手話通訳オペレーターを介して区役所へ問い合わせ可能な“手話リング”を区HPに設置

◎修学旅行や移動教室の無償化



Point!

- 区立小中学校で実施する宿泊行事にかかる費用を所得制限なしで実質無償化
- 移動教室や夏季施設の行事もカバー

◎重症心身障害児(者)レスパイト支援事業

家族等の経済的負担を軽減するため、利用者負担額を無償化

◎東京都シルバーパス購入費助成事業



Point!

- 購入費を区独自で1万円助成
- 高齢者の移動を支援、外出を促進

◎高齢者見守り電球設置事業

通信機能付きLED電球を自宅に設置し、一定時間電球が作動しない場合に通知や訪問を実施。

◎こども家庭向け複合施設整備事業



Point!

- 幅広い相談や支援に切れ目なく対応
- 江東区のみを管轄する児童相談所を併設
- 23区最多の区内10か所目となる子ども家庭支援センター(愛称:みずべ)を設置

◎ベビーシッター利用支援事業、拡充について

ひとり親家庭および障害児について、利用上限時間をこども一人あたり144時間から288時間に拡充するほか、障害児については対象を小学6年生までに拡充。

◎都内初! 中小企業向けDX推進支援センター開設!

Point!

- 都内発となる中小企業向けDX支援施設の整備により区内企業のDXを推進
- 中小企業にとってハードルの高いDXを単純なデジタル化の段階からサポート
- 実際にパソコンを操作しソフトを使ってDXを身近に

[令和8年4月1日から]

自転車の違反に「青切符」が導入されます!

以下は罰則の一例です。皆様くれぐれも安全運転を!

ながらスマホ (携帯電話使用等(保持)) 反則金 12,000円 	遮断踏切立入り 反則金 7,000円	信号無視 反則金 6,000円
一時不停止 (指定場所一時不停止等) 反則金 5,000円 	車道の右側通行 (通行区分違反) 反則金 6,000円	無灯火 反則金 5,000円
自転車制動装置(ブレーキ)不良 反則金 5,000円 	二人乗り (軽車両乗車積載制限違反) 反則金 3,000円	

江東区内の各駅や地域でリーフレットをお配りしています!



やしきだ綾香 プロフィール

1985年南砂生まれ、現在東砂在住。一児の母。
江東めぐみ幼稚園、第三砂町小・中、都立東高
文京学院大学(人間学部保育学科)卒業。
保育士(2008年3月東京都知事認証)

- ★ 2015年 江東区議会議員 初当選 現在3期目【江東区議会】
- ★ 企画総務委員会 委員長
- ★ 医療・介護・高齢者支援特別委員会 委員
- ★ 手話推進議員連盟 世話人